

Title	執筆者紹介
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1960
Jtitle	史学 Vol.33, No.1 (1960. 12) ,p.117- 117
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19601200-0117

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三十五年三月のことである)としたり、下巻でも三一六、三一七頁に慶應義塾中等部を同商工學校および商業學校の後身のようにならしたり、一一四六頁、昭和の創立であるべき慶應義塾女子高等學校、同中等部兩校を明治の創立と誤植したりしていること、些末といえは些末なことかも知れないが、義塾關係者からみればやはりいささか氣になるし、上卷一六一頁の「えて」にことさら「えて」とフリガナをつけたり、一九一頁の今井町附近の寫眞が本文と二、三頁ズレて入つていたりするのも、いかにも問の抜けた編集上の手違いといわれても仕方がなからう。

また、ついでに強いていうならば、明治時代の來朝外人に關心をもつたたくし個人とすれば、上卷三四一頁青山靈園主要墓地の項に、輕井澤の開拓者アレキサンダー・C・シヨウや、セメンエンの創始者シユアン・B・シモンズのことの缺けているのは淋しく、これだけの本にその程度のこととは避けがたいとは知りつつも、なお他の個所にもそここにきつと同様の感をいだかれる讀者がいるのではあるまいかと、ふと考えたりする。

しかし、なんにしても萬全は期し難く、とにかく諸種の制約のなかで、短期間によくもこれだけの大著をまとめあげたものと、執筆者各位の努力にはひたすら敬服せざるにいられない。かえりみれば、昭和三十二年という年は東京都内舊各區が行政上の都合による統合を施されてちょうど十年になり、ために、ひとり港區といわず、そのとき統合された新しい區ではみな思い思いに記念

事業を企畫して、そのなかにほとんどの區がことごとく區史編纂のことを加え、しかもそれらの各區がまたきそつて強力な編纂スタッフをそろえて、期せずしてあたかも競争のかたちとなつた。かくて、港區は地元の關係もあり、これをとくに慶應義塾に依頼してきたわけで、そういう意味からも、ここにこの完成をもたらしたことは實にめでたくも喜ばしい限りである。(會田倉吉)

執筆者紹介

清水潤三	本塾文學部助教授
太田次男	本塾普通部教諭
可兒弘明	本塾文學部考古學民族學研究室
笹津備洋	同 右
武田勝藏	本塾々史編纂所囑託所員(武藏工業大學教授)
會田倉吉	本塾々史編纂所主事
小川英雄	本塾大學院學生